

2010年2月 ITU-R WP1B 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1B 会合
 (周波数管理手法に関する作業部会)
- 【会期】 2010年2月1日(月)～2月10日(水)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概要】

本会合は、今研究期間における第4回会合である。38ヶ国の主管庁と9のROA (Recognized Operating Agencies)、6のSIO (Scientific or Industrial Organizations)、5の地域または国際機関事務局より計159名が参加した。日本からは、田邊、岩元、奥村(総務省)、小坂、村上、杉浦、石上(NICT)、亀谷(国立天文台)、小川(ARIB)、嶋田(三菱電機)、高山(パワネットコム)、三浦(パナソニックモバイルコミュニケーションズ)、木佐貫(新日本無線)の13名が参加した。

日本、カナダ、米国、韓国などからの寄与文書及び前回の議長報告と他グループからのリエゾン文書を含め合計50件の文書が入力され、14件の出力文書が作成された。出力文書の内訳は：暫定勧告改定案が1件、暫定報告書修正案が2件、リエゾン文書(リエゾンバック含む)が2件、作業文書が6件、その他が3件となっている。主なものは以下のとおり。

- ✓ 暫定勧告改定案：1B/TEMP/54
 Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 – Radiocommunication Data Dictionary (RDD)
- ✓ 暫定報告書修正案：1B/TEMP/44, 45
 Preliminary draft modification of Report ITU-R SM.2093 – Guidance on the regulatory framework for national spectrum management
 Preliminary draft modification to Report ITU-R SM.2153 – Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices
- ✓ リエゾン文書：1B/TEMP/48, 57
 Liaison statement to WP 1A on WRC-12 Agenda item 1.22
 Liaison statement to concerned groups on WRC-12 Agenda item 1.2

会議では、3つのWorking Group (WG)等が設置され、下記の担当事項の審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

表-1 会議の構成と各グループの担当事項

Working Party 1B 議長：Mr. S. Pastukh (RUS)
Working Group 1B-1 議長：Mr. F. M. Yurdal (ECO) 担当：ショートレンジデバイス等
Working Group 1B-2 議長：Mr. J. Conner (USA) 担当：WRC-12議題1.19
Working Group 1B-3 議長：Mr. N. Al Rashedi (UAE) 担当：WRC-12議題1.2
Ad hoc Group 議長：Mr. D. Barrett (G) 担当：ITU-R勧告SM.1413 - RDD

次回のWP1B会合は2010年6月21日(月)～28日(月)の日程でスイス(ジュネーブ)にて開催される予定である。引き続き、WRC議題について、CPMテキスト完成に向けた作業が行われるとともに、WP1Bに関連する勧告の改定作業などが実施される予定。

各事項の審議結果

1. WORKING GROUP 1B-1 (議長: MR. F. YURDAL (ECO)).....	3
1.1 ショートレンジデバイス(SRD)関係	3
1.1.1 報告 ITU-R SM.2153 の改定	3
1.1.2 DG1B-1-1(議長 VAN MAANEN ERIK(オランダ)) : HARMONIZATION OF SHORT RANGE DEVICE (RES. ITU-R 54(RA-07))	3
1.1.3 WP1A へのリエゾン文書.....	5
1.2 報告 ITU-R SM.2093(GUIDANCE ON THE REGULATORY FRAMEWORK FOR NATIONAL SPECTRUM MANAGEMENT)の改定	5
1.3 SWG1B-1-3(議長 H. SHARIF(UAE)) : ECONOMIC ASPECTS OF SPECTRUM MANAGEMENT	5
2. WORKING GROUP 1B-2 (議長:MR. J. CONNER (米))	7
2.1 ソフトウェア無線及びコグニティブ無線	7
3. WORKING GROUP 1B-3 (議長: MR. N. AL RASHEDI (UAE))	9
3.1 国際的な周波数管理枠組の見直し	9
4. AD HOC GROUP : RADIO COMMUNICATION DATA DICTIONARY (RDD) (議長 : MR. BARRETT (UK))	10
4.1 RADIO COMMUNICATION DATA DICTIONARY (RDD)	10

1. Working Group 1B-1 (議長: Mr. F. Yurdal (ECO))

1.1 ショートレンジデバイス(SRD)関係

1.1.1 報告ITU-R SM.2153の改定

入力文書 : 1B/165(RUS)

出力文書 : 1B/TEMP/45(WD)

(1)主要結果

Rep. ITU-R SM.2153 はロシアの改定提案通りの以下の作業文書が承認された。

Doc.1B/TEMP/45: PRELIMINARY DRAFT REVISIONS TO REPORT ITU-R SM.2153

(2)審議概要

Doc.1B/165(RUS)は、Report SM.2153「SRD に対する技術的・運用的パラメータと周波数利用」に対して、自国の SRD の利用状況についての情報を追加する提案である。本寄書の内容は、特段の議論もなく承認された。なお、本出力文書は、6 月の WP1B 会議でさらなる本 Report の修正提案を待ち、今年秋の SG1 会合に提出される予定である。

1.1.2 DG1B-1-1(議長 VAN MAANEN Erik(オランダ)) : Harmonization of Short Range Device (Res. ITU-R 54(RA-07))

入力文書 : Annex 1 to Document 1B/158(WP1B 議長報告), 1B/177(KOR), 183(CAN),
185(CAN), 188(AUS), 190(HOL)

出力文書 : 1B/TEMP/46(WD). TEMP/47(WD)

(1)主要結果

SWG1B-1-1 は SRD の Harmonization に関する ITU-R 決議 54 を所掌している。以下の暫定新勧告草案と暫定新報告草案を出力した。

Doc. 1B/TEMP/46: Preliminary Draft New Recommendation ITU-R SM.[SRD]: Frequency Bands Regionally or Globally Identified for Short-Range Devices (SRDs)

Doc. 1B/TEMP/47: Preliminary Draft New Report ITU-R SM.[RFID]: Technical Characteristics, Standards, and Frequency Bands of Operation for RFID and Potential Harmonization Opportunities

(2)審議概要

勧告に向けての作業文書(Doc.1B/TEMP/46: Preliminary Draft New Recommendation ITU-R SM.[SRD]: Frequency Bands Regionally or Globally Identified for Short-Range Devices (SRDs))

本件については、前回の WP1B 会合で文書の作成方向として、Recommendation にすべきか Report にすべきかの議論があり、結局単なる作業文書のタイトルで議長報告に添付されることとなった経緯がある(Annex 1 to Doc.1B/158)。よって、韓国入力文書(Doc. 1B/177)が、Recommendation となっていたため、その意図が問われたが、明確な回答は韓国よりなかった。

本件の出力文書はこのような経緯を考慮せず、Working Document towards a Preliminary Draft New Recommendation となっている。なお、本寄書は、各国の状況の記述法や前回の SG1 会合で承認された Report 2153 を参照することを求めるものであり、特段の議論はなかった。

Doc.1B/183(CAN)は、カナダにおける、SRD による干渉問題の事例研究分析の一例を示すものであるが、議題 1.22 に関係する内容であるため、WP1A で議論された。そのため、審議はカナダ提案文書を除く寄書をマージして審議が進められた。

1B/185(CAN)は SRD に対する周波数帯の協調に向けた作業文書の修正提案である。本文書において、Report ITU-R SM.2153 を参照している Recommends 2 を削除していることに対し、日本から「含まれている情報は重要なのでどこかに残す必要がある」との意見を述べた。また、DG において、カナダ、オランダを中心に当概文書で何を勧告(recommend)するかの議論があったが、結局"SRD に関する報告書 ITU-R SM.2153 をガイダンスとして使用すること"で合意がなされた。

Doc.1B/188(AUS)は、暫定新勧告案「SRD に利用可能な地域的・世界的な周波数帯」の作業文書に関して、基準周波数 20kHz や時報のような国際的な周波数アレンジメントに着目し、修正提案を行っているが、特段の議論はなかった。

Doc.1B/190(HOL)は、現在協調している、もしくは協調できる可能性のある周波数帯を示唆するものであり、これらの周波数の一部において、世界的な協調が実現可能かどうか決定するため、ITU-R で検討を開始すべき旨提案している。本文書には IF-RD として使用されている周波数を示す Annex 1 が添付されている。本文書に対しては、日本からは、862-960 MHz 帯については、全ての帯域を協調するのは不可能であることの懸念を示したが、オランダ、および議長からはその旨は理解しているため、チューニングレンジ等による記載も含めて、別途作業文書での記載を議論することが述べられた。本 Annex に対する主な審議結果は下記のとおりである。

- 862-960 MHz

当概帯域については、下記の記載を行ない、862-960MHz 全域が協調の対象ではなく、あくまでもチューニングレンジであることの記載を行っている。

- Annex 1 の SRD frequency bands の Note の枠については、一部の国からの詳細割当情報を記述していたが、"The whole band can be considered a tuning range not completely available in a particular country, check national regulations."の記述を追加し、削除することとした。

各周波数帯については、表内の Note の欄に特定の国の情報を削除し、一般的な内容のみの記載しているが、UAE から 862-960 MHz 帯の記載に対して、この帯域を ISM 帯としているのは REGION 2 のみであり、また、アラブ諸国をはじめ、自国の状況を表してはいない、との懸念が表明された。DG 議長からは「もともと各国の状況を NOTE の欄に記載していたが削除した。しかし、Additional Note や、Recognizing C 等でこれらの懸念に配慮しており、また詳細は各国の状況等を参照することと記載している」との回答があった。なお、勧告の題名” Frequency Bands Regionally or Globally available for Short-Range Devices (SRDs)”について、UAE やフランスから、記述されている周波数帯の使用が可能との印象となる、との意見が出されたため、“available”は“identified”に変更されている。

報告に向けての作業文書(Doc.1B/TEMP/47: Preliminary Draft New Report ITU-R SM.[RFID]: Technical Characteristics, Standards, and Frequency Bands of Operation for RFID and Potential Harmonization Opportunities)

Doc.1B/178 (KOR)は、RF-ID に関する最近の韓国の規則及び ITU-T での標準化の状況を反映するために、作業文書のアップデートを提案している。Doc.1B/189(AUS)は、オーストラリアの RF-ID の周波数及び技術的ルールをカバーするためのアップデートを提案している。

これらの文書を基に、大きな議論なく作業文書の改定が行われた。なお、日本から「文中の RFID terms and definitions については、ITU の定義になのか」との質問をしたところ、カナダからは「カナダ寄書に書かれているものである(カナダ国内の定義)」とのコメントがあり、カナダが次回会合まで調べることになった。定義については、過去から常に大きな議論を呼ぶもとなっているため、今後の動向に注意が必要である。

1.1.3 WP1Aへのリエゾン文書

入力文書：1B/160(WP1A)

出力文書：1B/TEMP/48(LS)

(1) 主要結果

WP1A への以下の返書が承認された。

Doc.1B/TEMP/48: Draft liaison statement to WP 1A - WRC-12 Agenda item 1.22

(2) 審議概要

Doc.1B/160 は、議題 1.22 の関連 WP（1B、3K、4A、5A、5D、6A、7C）に対して、WP1A からのコメント等が述べられているリエゾン文書である。WP1B に対しては、「WP1B が決議 54 に基づく SRD のための調和のとれた周波数範囲を検討していることが、WP1A の関心である」とのコメントが述べられている。

リエゾンバック文書は SWG1B1 議長により作成された。概要は Harmonization に関わる前述の下記の 2 つの文書について検討中である旨の通知となっている。

1. Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD]
2. Working document towards a preliminary new Report ITU-R SM.[RFID]

1.2 報告ITU-R SM.2093(Guidance on the regulatory framework for national spectrum management)の改定

入力文書：1B/176(KOR), 180(KOR)

出力文書：1B/TEMP/44(WD)

(1) 主要結果

Report ITU-R SM.2093 の改定作業がおこなわれ、以下の作業文書が作成された。

Doc. 1B/TEMP/44: WORKING DOCUMENT TOWARDS PRELIMINARY DRAFT
MODIFICATION OF REPORT ITU-R SM.2093

(2) 審議概要

Doc.1B/176 は、韓国が中心になり Correspondence Group が作成した WP1B の所掌する勧告や報告へのコメントであり、Report ITU-R SM.2093（国内の周波数管理の規定に関するガイドライン）に関して、各国の情報をさらに追加することが提案されている。Doc.1B/180（KOR）は、この方向性に沿った Report の修正提案である。本寄書は、Report ITU-R SM.2093 に紹介されている韓国内の周波数規制の枠組みの記述について、現状を反映するよう修正を提案するものであり、議論なく承認された。

1.3 SWG1B-1-3(議長H. Sharif(UAE) : Economic aspects of Spectrum Management

入力文書：1B/161(SG1), 1B/172(B), 1B/179(KOR), 1B/193(UAE), 1B/194(UAE),
Info(CHN)

出力文書：1B/TEMP/49(WD)、50(SWG 議長報告)

(1) 主要結果

Report ITU-R SM.2012 の改定作業が進められ、作業文書が作成された。

Doc. 1B/TEMP/49 Working document towards a preliminary draft revision of Report

(2) 審議概要

1B/161(SG1)は、WP1B が Report ITU-R SM.2012-2 (2005) の改訂およびスペクトラムモニタリングのハンドブックの新エディションの作成中であることを ITU-D SG2 に通知する LS であり、Note された。

Doc.1B/172(B)は、ブラジルの周波数利用料制度についての修正を提案している。Doc.1B/179(KOR)は、本 Report に紹介されている韓国の周波数利用料金制度の記述について、現制度を反映するよう修正を提案している。

Doc.1B/193(UAE)は、報告書の見直しに関するコレスポネンスグループの活動報告である。1B/194(UAE)は、本寄書作成まで入力された文書をマージした文書である。

INF(CHN)は自国の周波数管理に関する情報であり、Late document ではあるが、情報文書として審議されることが合意されている。

ブラジル、韓国からの入力、及び中国からの情報に基づき ITU-R 報告 SM.2012 のアップデートを実施し、特段の議論もなく承認された。なお、クリーンバージョンとして、次回の入力を待つこととしたいとの意向があったが、カウンセラからは、修正履歴は有用情報であり、残した方が良いとのコメントがあり、クリーンバージョンを議長報告に添付しつつ、修正履歴入りの版を承認することとした。また、コレスポネンスグループは議長をシャリフ氏として継続することとした。

Rep.2012 の改定に関しては、シリアから開発途上国にとって重要であり、早期の完成を要請した。しかし、カナダ、スウェーデンから CPM の作業が優先され困難であるとの発言があり、次回の SG1 会合で可能であれば承認を得ることが望ましいが、義務ではないことで合意された。

2. Working Group 1B-2 (議長:Mr. J. Conner (米))

2.1 ソフトウェア無線及びコグニティブ無線

入力文書：1B/158 Annex 5, 6(前回会合の WP1B 議長報告), 1B/159(WP 7B), 1B/162(WP 6A), 1B/166(ロシア), 1B/167(WBU), 1B/168(NABA), 1B/169(CPM-11 議長), 1B/170(CBS), 1B/175(アメリカ), 1B/182(韓国), 1B/184(カナダ), 1B/191(AsiaSat), 1B/192(UAE), 1B/195(イタリア), 1B/198(日本), 1B/201(フィンランド), 1B/202(フィンランド/オランダ), 1B/203(オランダ), 1B/204(ドイツ), 1B/205(ドイツ/フィンランド/オランダ)

出力文書：1B/210 Annex 7, 8 (WP1B 議長報告) (Source: 1B/TEMP/51(ワークプラン), 1B/TEMP/52(AI 1.19 に関する CPM))

(1) 主要結果

WRC-12 議題 1.19 として掲げられているソフトウェア無線(Software-defined radio, SDR)及びコグニティブ無線(Cognitive radio systems, CRS)について、ドラフト CPM 文書の作成を行った。CRS に関して、新たに2つの method が追加提案され、計3つが併記される形となり、次回会期に継続議論されることとなった。

(2) 審議概要

WG1B-2 は、CPM 文章について扱う SWG1B2a が作られ、主要な議論はこちらで行われた。本 SWG の議長は Peter Anker 氏(オランダ)が務めた。

SWG1B-2a では、前回に引き続き CPM 文章に関する議論が行われた。CRS に関する method について、大きな議論が行われた。フィンランドとオランダ(1B/202)、ロシア(1B/166)の2件の寄書が method の追加を提案するもので、いずれも CRS について更なる検討を行うべきであるという趣旨の決議を作り、引き続き検討を行うとしたものである。しかし、両者の立ち位置に大きな違いがあり、1B/202 は更なる検討を推進するという立場であるのに対し、1B/166 はいわゆるホワイトスペース的な周波数利用による干渉を懸念し、衛星等の帯域の保護検討をするべき、という立場である。そのため、両 method と、それぞれの advantage/disadvantage に関する記述についての議論が平行線となり、1B/202 をもとにしたものを Method B2、1B/166 をもとにしたものが Method B3 として併記され、次回継続議論することとなった。

Method B1: No change to the Radio Regulations.

SUP Resolution 956 (WRC-07)

Method B2:

ADD Draft Resolution [A119-B2] "Studies on cognitive radio systems (CRS)".
SUP Resolution 956 (WRC-07)

Method B3:

ADD Draft Resolution [B119-B3] "The use of cognitive radio systems (CRS)".
SUP Resolution 956 (WRC-07)

なお、Method B3 はロシアとイタリア(と AsiaSat)が支持しており、他の多くの(CRS の議論に参加している)国は Method B2 を支持している。

本会合では、日本から Deployment scenario と SDR と CRS の関連性について寄書(1B/198)を入力した。Deployment scenario に関しては、日本の提案している2シナリオがレギュレーションに対して与える影響が明確ではないのではないかとこの意見が複数出されたが、実際の CRS の導入事例として他標準化団体でも検討されていることなどが考慮され、文案の修正を伴い採用となった。しかし、次回会合にて CRS の特性とどのようなレギュレーションの変更が必要かより明確に記述した文章を提案することを推奨する意見が出されている。一方の

SDR と CRS の関連性に関しては、ほぼ原文のまま採用された。

他には、各国から提案されていた少しずつ異なる記述に関してハーモナイズが行われ、文量が大幅に削減された。また、他 WP から複数寄せられていた、CRS 導入に関する懸念を示した文章についても、要点をまとめて文章を簡潔化した。これにより、今まで参照を用意するために、リエゾン文章や各国寄書の原文がおさめられていた Annex については、その役目を終えたとして削除されることとなった。

CPM 文章以外では、イタリアより CRS 無線機の認証・セキュリティに関する寄書(1B/195)が俎上に上がったが、セキュリティに関する議論は ITU-T SG17 にて議論が行われており、そちらの方が議論の場として適しているとの指摘があり、イタリアが取り下げることで合意した。

今後の Workplan について、次回会合(2010 年 6 月)が CPM 文章締め切り前最終の会期となることから CPM 文章の作成に注力するべきであるとされた。また、本会期にて新たな Recommendation や Report の作成提案がなかったため、次回の workplan より該当項目が削除された。

3. Working Group 1B-3 (議長: Mr. N. Al Rashedi (UAE))

3.1 国際的な周波数管理枠組の見直し

入力文書：1B/158(Annex 7), 158(Annex 8), 1B/163(IRN), 164(IRN), 169(CPM-12 議長), 173(USA), 174(USA), 181(KOR), 186(CAN), 187(CAN), 196(G, Sweden, NL, D), 197(J), 199(F), 200(F), 206(Sweden), 207(Telenor)

出力文書：1B/TEMP/53, 55, 56, 57

(1)主要結果

周波数管理枠組の見直しについて各国からの寄与文書を元に議論がなされた。CPM テキストについては課題 1 (地上業務間の融合 (固定業務と地上移動業務)) と課題 2 (一般的周波数分配) に対する各 Method がまとめられ、「CPM テキスト案に向けた作業文書(Working document towards draft CPM text on WRC-12 agenda item 1.2)」(CPM テキスト案)が作成された。今回の CPM テキスト案では、Method に議論を集中させる方針により、これまで各国から入力された Advantage と Disadvantage について審議する時間がなかったため、一旦削除された構成でまとめられた。そのため Advantage と Disadvantage の検討については次回に繰越しになった。今回会合において整理された Method は以下の通り。

Issue A: 地上業務間の融合

Method A1 : 現行維持

Method A2 : 固定業務、固定局、移動局及び地上局の既存定義の変更

Method A3 : 固定業務(受信固定局)の定義変更、Appendix 4 の Table 1(通告様式)の改定

Issue B : 一般周波数割当原則

Method B1 : 現行維持

Method B2: 勧告 34 (WRC-95) (周波数分配の根本原則) の削除と新 WRC 決議の提案

また、各国の提案を列挙した「WRC-12 議題 1.2 に関連した国際周波数管理枠組の見直しに関する新研究レポート草案に向けた作業文書(Working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the International Regulatory Framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2) (PDNReport)」では、Annex 1, 2 と Study 2 のアップデートが行われた。

また、議題 1.2 については、次回第 5 回会合にて作業を終える旨連絡するため、「WP4A、WP4C、WP5A、WP6A への WRC-12 議題 1.2 に関するリエゾン文書(WP5B、WP5C、WP7A、WP7B、WP7C、SG3 へは情報として)」が作成された。

(2)審議概要

前回と同様に 2 つの SWG-1B3 CPM-Text(A.Kuhn 議長(独))、SWG-1B3 PDNReport(S.Y.Tan 議長(英))の構成で審議が進められた。なお、WRC-12 議題 1.2 は、従来 of 枠を跨ぐ新たな技術への対応のため、WRC-03 決議 951 (Rev. WRC-07) に基づき、無線通信業務 (固定業務、地上移動業務、放送業務等) の現在の無線通信規則(RR)の見直しについて、その必要性も含めて検討を行うものである。

CPM テキスト案に向けた作業文書(CPM テキスト案)

議長により議題 1.2 の考え方の認識の合意を行うための図面が作成され、以下の内容について合意のもとに審議が進められた。なお、衛星業務については、これまで寄与文書がない点が米国から指摘されたが、多数の国の支持により下記③項は暫定的に残された。

- ① 議題 1.2 は General issue と Specific issue (regarding specific radiocommunication service)から成る。
- ② Specific issue は地上業務と衛星業務から成る。
- ③ 衛星業務は、衛星—衛星と衛星—地上の業務に分割できる。

地上業務間融合のための Method について、Method A1 は、RR の変更を行わないこととし、現状の業務の定義及び Appendix 4 の変更も行わない Method であると整理された。Method A2 については、不特定な場所で運用される無線局は移動業務、特定の固定場所で運用される無線局は固定業務になることが明確にされている。これは、現在の国内制度(割当)に影響を及ぼすとフランス、韓国及び日本から説明があったが、これまでグレーゾーンであった部分が明確になることは Impact とはならないとされた。Method A3 について、Appendix 4 の通告様式の変更における Area の通告は、受信側の Area のみしか通告出来ないことが明確にされた。

Method A2 及び Method A3 は、今後も Technical Study、Article 1, Article 5, Article 9, Article 11, Article 21, Appendix 4, 衛星業務及びその他 RR への影響の検討が必要であるとされ、その旨 PDNReport に記載された。

一般的周波数割当原則(Issue B)に関しては、現行を維持するとして Method B1 が追加された。また、スウェーデンから、Method B2 はトップダウンアプローチであり、今後の WRC へのガイダンス、課題提供になること、worldwide basis は Region 1,2,3 をカバーする意味であるとの説明がなされた。なお、Method B2 における決議案については、勧告 34 に新たに気候変動やデジタルディバイドに対する ITU の取組の必要性に関して記載した内容で承認されたが、プレナリにおいてシリアより、決議 34 に関する記述について反対するとのコメントがあった。

その他、韓国より、Advantage/Disadvantage についてさらに議論の必要がある旨のコメントがあった。

ITU-R レポートに向けての作業文書(PDN Report)

各 Method に関しては、Article 1,5,9,11,21,Appendix 4,衛星業務及びその他 RR への影響について検討するようまとめられたが、まだいずれの Method についても検討は終わっていない。

Study 2 については、MS、FS、BS のいずれかに分配されているバンドには 3 つの業務を全て割り当てるという考え方について検討されたが、さらなる研究が必要であること、また、放送業務は検討から切り離すべきであると記載された。

Annex 2 の Satellite issue については、衛星—衛星と衛星—地上の業務の共同分配について検討がなされたが、結論に『BSS, FSS, MSS 及び terrestrial services が同じカテゴリとした場合の結論であるが、実際にはカテゴリは同じではなく、より複雑なシチュエーションであること』と記載され、また今後さらなる検討が必要であるとされている。

4. Ad hoc Group : Radio communication Data Dictionary (RDD) (議長 : Mr. Barrett (UK))

4.1 Radio communication Data Dictionary (RDD)

入力文書 : 1B/171(G)

出力文書 : 1B/TEMP/54

(3) 主要結果

入力された文書に従って、暫定改定勧告草案"ITU-R 勧告 SM.1413-2 - RDD"に向けた作業文書のリバイス作業が行われた。また、検討の結果、本文書を「作業文書」から「暫定改定勧告草案」にすることとされた(1B/TEMP/54)。

いくつかの主管庁からは、次回 WP1B において本改定作業を完了させるべき、との意見が出たが、議長より、膨大な作業量が残っているためそれは難しいとのコメントがあった。結局、あと 1～2 回の会合で作業を終了させるとの認識で合意に至ることとなった。

入力文書

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
159	WP 7B	Liaison statement to Working Party 1B on the study of software-defined radio and cognitive radio systems	SDR及びCRSの検討に関する リエゾン文書
160	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 1B, 3K, 4A, 5A, 5D, 6A and 7C - WRC-12 Agenda item 1.22	WRC-12 議題 1.22 に関する リエゾン文書
161	ITU-R SG 1	Reply liaison statement to ITU-D Study Group 2 - Resolution 9 (Rev. DOHA, 2006), draft guidelines for the establishment of a system of fees (copy for information to Working Parties 1B and 1C)	ITU-D SG2 へのリエゾン回 答文書-決議 9(REV. Doha, 2006)料金システムの構築に 関するガイドライン案
162	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1B - WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関するリ エゾン文書
163	Iran (Islamic Republic of)	WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2
164	Iran (Islamic Republic of)	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 のための CPM テキスト案の検討
165	Russian Federation	Preliminary draft revisions to Report ITU-R SM.2153 "Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices"	ITU-R report SM.2153 "SRD に対する技術的・運用的パラ メータと周波数利用" の暫定修正案
166	Russian Federation	Proposed modification to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する draft CPM text に向けた作業 文書に対する修正提案
167	World Broadcasting Unions - Technical Committee	Comments on the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する draft CPM text に向けた作業 文書に対する意見
168	North American Broadcasters Association (NABA)	Comments on the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する draft CPM text に向けた作業 文書に対する意見
169	Chairman, CPM-11	Additional information for the preparation of the draft CPM Report to WRC-12	WRC-12 に向けたドラフト CPM レポートの準備のための 追加情報
170	CBS, Inc.	Comments on the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する draft CPM text に向けた作業 文書に対する意見
171	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Preliminary draft revision of ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	ITU-R 勧告 SM.1413-2 の改訂 文書

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
172	Brazil (Federative Republic of)	Brazil's experience with spectrum FEES - Review of time 5.2.10 of Report ITU-R SM.2012-2	ITU-R報告SM.2012-2項5.2.10 (Brazil's experience with spectrum fees) の検討
173	United States of America	Analysis of the impact to the fixed-satellite service of proposed changes to the definitions of fixed and mobile services	固定業務 (FS) と移動業務 (MS) の定義の変更による固 定衛星業務 (FSS) への影響の 研究
174	United States of America	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2にかかるCPM テキスト案に向けた作業文書
175	United States of America	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19の暫定CPM テキストに向けた作業文書
176	Korea (Republic of)	Comments to the ITU-R Recommendations and Reports assigned to ITU-R Working Party 1B	ITU-R WP1Bに割り当てられ たITU-R勧告及び報告書への コメント
177	Korea (Republic of)	Text for preliminary draft new Recommendation ITU-R [SRD-HRM]	暫定新勧告案 ITU-R[SRD-HRM]の文章につ いて
178	Korea (Republic of)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID]	暫定新報告書案 ITU-R SM.[RFID]への作業文書
179	Korea (Republic of)	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-2	報告書ITU-R SM.2012-2の改 訂草案への寄与文書
180	Korea (Republic of)	Proposed modification of Report ITU-R SM.2093	ITU-R SM.2093報告書の修正 提案
181	Korea (Republic of)	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 における CPM テキスト案に向けた作業 文書
182	Korea (Republic of)	Proposed revisions to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	議題 1.19に関する暫定CPMテ キストの作業文書への修正提 案
183	Canada	Proposed revisions to working document to advance work of WRC-12 Agenda item 1.22	WRC-12 議題 1.22 に関する作 業文書への修正提案
184	Canada	Proposed modifications to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議題 1.19 に関する CPM テキストに向けた作業文 書の修正提案
185	Canada	Proposed revisions to working document towards the harmonization of frequency bands for SRD - Frequency bands regionally or globally available for short-range devices (SRDs)	SRDに対する周波数帯の協調 に向けた作業文書の修正提案 ～SRDにおける地域的または 世界的に有効な周波数帯～

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
186	Canada	Proposed revision to working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the International Regulatory Framework in relation to WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2に関する国際周波数管理枠組みの拡充についての暫定新報告書案に向けた作業文書への修正提案
187	Canada	Proposed revisions to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2におけるCPMテキスト案に向けた作業文書の修正提案
188	Australia	Proposed revisions to the working document towards the harmonization of frequency bands for SRD - Frequency bands regionally or globally available for short-range devices (SRDs)	SRDに対する周波数帯の協調に向けた作業文書の修正提案 ～SRDにおける地域的または世界的に有効な周波数帯～
189	Australia	Proposed revisions to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID] - Technical characteristics, standards and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities	暫定新レポート SM.[RFID]に向けた作業文書への修正提案 - RFIDの運用に関する技術的特性、標準及び周波数帯、及び潜在的な協調機会
190	Netherlands (Kingdom of the)	Working document towards the harmonization of frequency bands for SRD - Frequency bands regionally or globally available for short-range devices (SRDs)	SRDに対する周波数帯の協調に向けた作業文書の修正提案 ～SRDにおける地域的または世界的に有効な周波数帯～
191	Asia Satellite Telecommunications Co. Ltd.	WRC-12 Agenda item 1.19 - Proposed revisions to the working document towards draft CPM text	議題 1.19に関する CPM テキストに向けた作業文書への修正提案
192	United Arab Emirates	Proposed modification to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	議題1.19に関するCPMテキストに向けた作業文書の修正提案
193	United Arab Emirates	Annex to the report of the Chairman of the Correspondence Group on revision of Report ITU-R SM.2012-2 - Economic aspects of spectrum management	報告書ITU-R SM.2012-2の改訂草案
194	United Arab Emirates	Revision of Report ITU-R SM.2012-2 - Economic aspects of spectrum management - Report on the activities within the Correspondence Group	コレスポンデンスグループにおける活動の報告
195	Italy	Proposed liaison statement to ITU-T Study Group 17 - WRC-12 Agenda item 1.19	議題1.19に関するITU-T SG17へのリエゾン文書の提案

文書 番号 (1B/##)	提出元	表題	
196	Germany (Federal Republic of) , United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland , Sweden , Netherlands (Kingdom of the)	Proposed changes to the working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2 CPMテキ スト案に向けた作業文書の修 正提案
197	Japan	Modifications to draft CPM text for WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議 題 1.2 に対する CPMテキストの修正提案
198	Japan	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12 議 題 1.19 に対する CPM文章の提案
199	France	Working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the international regulatory framework - In relation to WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2国際周波数 管理枠組の向上についての 新研究レポート草案 作業 文書
200	France	Proposed changes to the working document towards - Draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2 CPMテキ スト案に向けた作業文書の修 正提案
201	Finland	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19に関する CPMテキストの検討
202	Finland , Netherlands (Kingdom of the)	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19に関する CPMテキストの検討
203	Netherlands (Kingdom of the)	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19に関する CPMテキストについての検討
204	Germany (Federal Republic of)	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19に関する CPMテキストの検討
205	Finland , Netherlands (Kingdom of the) , Germany (Federal Republic of)	Development of CPM text for WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19に関する CPMテキストの検討
206	Sweden	WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2
207	Telenor ASA	Proposals to further the text of working document towards a preliminary draft new Report on enhancing the international regulatory framework	議題1.2に関する国際周波数管 理枠組の見直しについての 新研究レポート草案 作業文書

出力文書

文書 番号 (1B/TEM P/##)	表題	備考 (提出元)	
44	Preliminary draft modification of Report ITU-R SM.2093 – Guidance on the regulatory framework for national spectrum management	ITU-R報告書SM.2093の暫定修正案	WG1B-1
45	Preliminary draft modification to Report ITU-R SM.2153 – Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices	ITU-R報告書SM.2153の暫定修正案	WG1B-1
46	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD] - Frequency bands regionally or globally identified for short-range devices	暫定新勧告草案”ITU-R勧告SM.[SRD]”に向けた作業文書	WG1B-1
47	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RFID] - Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for RFID and potential harmonization opportunities	暫定新報告書草案”ITU-R報告書 SM.[RFID]”に向けた作業文書	WG1B-1
48 (1A/253)	Liaison statement to WP 1A on WRC-12 Agenda item 1.22	WRC-12 議題 1.22 に関する WP1Aへのリエゾン文書	WG1B-1
49	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2012-2 – Economic aspects of spectrum management	暫定報告書改定案”ITU-R報告書SM.2012-2”に向けた作業文書	WG1B-1
50	Summary Report of the activities of WG-1B1 – Short range devices(SRDs) and economic aspects of spectrum management	WG1B-1活動の主な報告	WG1B-1
51	Revised Work plan for WRC-12 Agenda item 1.19	改定されたWRC-12議題1.19作業計画	WG1B-2
52	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.19	WRC-12議題1.19に関するドラフトCPMテキストに向けた作業文書	WG1B-2

文書 番号 (1B/TEM P/##)	表題		備考 (提出元)
53	Working document towards preliminary draft new Report ITU-R SM.[Agenda item 1.2] on enhancing the international spectrum regulatory framework in relation to WRC-12 Agenda item 1.2	暫定新報告書草案 "ITU-R SM.[Agenda item 1.2]"に向けた作業文書	WG1B-3
54	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 – Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	ITU-R勧告SM.1413-2の暫定改定案	Ad hoc Group
55	Working document towards draft CPM text on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12 議題 1.2 のドラフト CPMテキストに向けた作業文書	WG1B-3
56	Method of work and organization of studies for WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2のための作業方法及び研究編成	WG1B-3
57 (3/54, 4A/302, 4C/357, 5A/427, 6A/299, 5B/425, 5C/313, 7A/44, 7B/195, 7C/157)	Liaison statement to concerned groups on WRC-12 Agenda item 1.2	WRC-12議題1.2に関連するグループへのリエゾン文書	WG1B-3